エコアクション21
環境活動レポート

第12版

令和3年度(令和3年 7 月～令和4 年 6 月)

株式会社　明　宝

作成日　　令和5年3月24日

目　次

会社概要	p2
環境方針	p3
実施体制構築	p4
目標と実績	p5
活動計画・評価・課題	p6
代表者見直・関連法規	p7

会　社　概　要

1)　名称及び代表者名

株式会社　明　宝

代表取締役　向山　勝徳

2)　所在地

熊本県下益城郡美里町三和246番2《事務所、資材倉庫》

3)　環境管理責任者及び担当者連絡先

管理責任者　向山　勝徳

担　当　者

連　絡　先　Tel:　0964-27-9695

Fax:　0964-53-9850

4)　事業内容

建設業許可　熊本県知事　(特)2　第000667号

土木工事業　とび・土工工事業

石工事業　舗装工事業

水道施設工事業　解体工事業

建設業許可　熊本県知事　(般)2　第000667号

管工事業

5)　事業規模

資本金　3120万円

売上高　18392万円

従業員数　15名

環　境　方　針

企業理念

私たち、明宝は、
「自然との共生」「共に働く者との共栄」「共に磨いた卓越した技術」
この三共の精神を持って、社会に貢献します。

環境理念

Ⅰ　株式会社　明宝は、一般土木施工業において生じる環境負荷（振動、騒音、環境汚染）を削減することで地域社会に貢献し、地域活動の振興、環境保全の改善に努めます。

Ⅱ　未来の子供達への環境保全活動に取り組みます。

活動方針

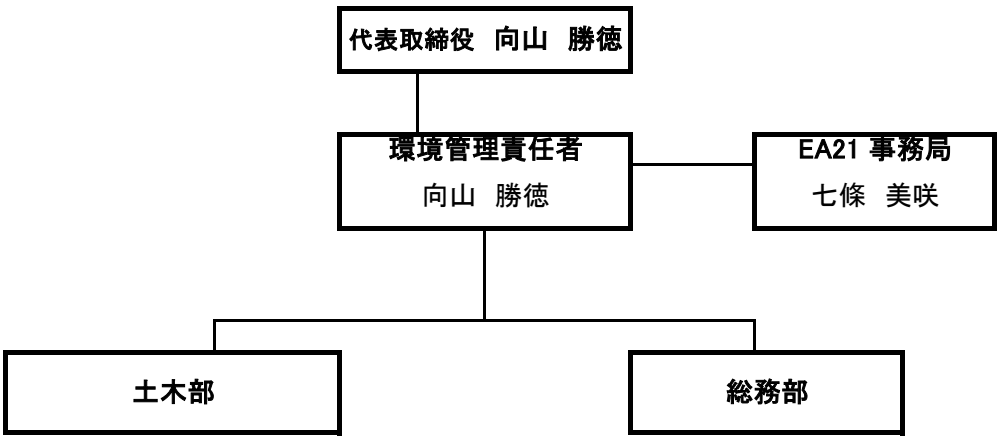
◎ 当社は、環境管理システムを構築し、環境への影響を低減し、環境に配慮した活動に取り組み、それにより、経営の環境も改善できるよう、継続して取組みます。

① 電力・燃料等の使用に伴う二酸化炭素の排出量の低減
② 建設資材の省資源、廃棄物の減量、リサイクル、廃棄物処理の対策と管理
③ 水資源を大切に、節水に心がける
④ 事務用品・建設資材のグリーン購入の推進
⑤ 地域貢献活動
⑥ 省エネ・省資源型建設機械の積極的な取り入れ
⑦ 全従業員へ環境保全行動も含め、周知する教育を行う

◎ 全ての社員で、環境活動に取り組み、環境に与える影響を低減します。
◎ 当社に関係する環境関連法規制を遵守します。
◎ 環境保全に関する行政機関・地域等の要請に協力します。

制　定　日　平成23年10月31日
改　定　日　平成26年7月12日
株式会社　明　宝
代表取締役　向山　勝徳

実　施　体　制



代表者	向山　勝徳	・ 環境方針を定める ・ 全体の評価と見直し ・ 社内教育の計画 ・ 資源（人、モノ、金、情報）を提供
環境管理責任者	向山　勝徳	・ システムの総責任者としての実績把握と代表者への報告 ・ 勉強会、報告会の計画
土木部 【現場・現場事務所】	平田　築	・ 環境関連法規等の遵守状況の把握 ・ 部門の計画、立案 ・ 環境負荷の自己チェックをし、把握する ・ 現場の燃料、廃棄物の管理、把握
総務部	北岡　雅子	・ 文書作成、システム運用上の管理 ・ 環境負荷の自己チェックをし、把握する

環 境 目 標 と 実 績

1.中長期環境目標(R3～R5)

		R2年度実績（基準）	R3年度目標（基準年度1%減）	R4年度目標（基準年度1.5%減）	R5年度目標（基準年度2%削減）	備考
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減					
	kWh	1,455	1,440	1,433	1,425	
	Co2換算（kg-Co2）	753.7	746.2	742.4	738.6	
	ガソリン使用量の削減					
	L	1,798	1,780	1,771	1,762	
	Co2換算（kg-Co2）	4,172.3	4,130.5	4109.7	4,088.8	
	軽油使用量の削減					
	L	4,886	4,837	4,812	4,768	
	Co2換算（kg-Co2）	12,605.9	12,479.8	12,416.8	12,353.7	
	混合使用量の削減					
	L	38	37.6	37.4	37.2	
	Co2換算（kg-Co2）	88.2	87.3	86.8	86.4	
廃棄物	産業廃棄物のリサイクル100%	100%	100%	100%	100%	
	一般廃棄物	分別活動を徹底して実施する。				
	kg					
水	水使用量の維持					
	m3	12	12	12	12	
貢献 地域	ボランティア活動					
	回	2	2	2	12	
工事における環境配慮の徹底（通年）		工事における環境配慮を徹底する（環境配慮型機器の使用、生物多様性への配慮）				

※令和2年九州電力Co2排出係数＝0.377

2.令和3年度環境目標・実績

方針		R3年度目標・実績					
		R2年度実績（基準）	R3年度目標（R2年度実績1%減）	R3年度実績	達成率（%）	評価	備考
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減						○は100%以上
	kWh	1,455	1,440	1,581	91.1	△	
	Co2換算（kg-Co2）	753.7	746.2	687.7	108.5	○	△は99%～60%
	ガソリン使用量の削減						
	L	1,798	1,780	2,898	62.0	△	×は60%未満
	Co2換算（kg-Co2）	4,172.3	4,130.5	6,723.60	61.4	△	（是正措置対象）
	軽油使用量の削減						
	L	12,638	12,512	20,379	61.4	△	
	Co2換算（kg-Co2）	32,606.0	32,279.9	52,578.3	61.4	△	
	混合油使用量の削減						
	L	38	37.6	135.0	27.8	×	
	Co2換算（kg-Co2）	88.2	87.3	313.2	27.8	×	
Co2換算（kg-Co2）の合計値		37,620.2	37,243.9	○ 60,302.8			
Co2達成率				61.8%		△	
廃棄物	産業廃棄物のリサイクル100%	100%	100%	100%	100%	○	
	一般廃棄物	分別活動を徹底して実施する。					
	kg						
水	水使用量の維持						
	m3	12	12	12	100.0	○	
貢献 地域	ボランティア活動						
	回	2	2	2	100.0	○	
工事における環境配慮の徹底（通年）		工事における環境配慮を徹底する（環境配慮型機器の使用、生物多様性への配慮）					

※令和2年九州電力Co2排出係数＝0.377

活動計画と評価及び次年度の取組み

項目	環境活動計画	結果	評価・次年度の課題
電力	・休憩時の消灯。　点灯は使用範囲のみ。 ・パソコンは昼間、スリープモード。帰る時電源OFF ・シュレッダーは、使用時のみ運転状態にする。	○ ○ ◎	もっと心がけること 今の活動を継続して、全員で取り組み結果を出そう。 エアコンの使用料が増えている。
燃料	・重機のアイドリングストップにつとめる。 ・急発進、急加速をしない。 ・定期的にタイヤの空気圧のチェック ・車内エアコンの適正な温度管理	△ ○ ○ ◎	車内に〝車にやさしい運転を！！〟のシールを貼っている。 心がけている 燃料の給油時にチェックしている 現状を維持して取り組んでいく
紙	・印刷する前に　確認、修正してから印刷の習慣 ・裏紙使用できるものは、1ヶ所にまとめて社内で利用 ・カレンダー等はメモ用紙として使う ・FAX受信はパソコンで受け取り、必要なものだけ印刷する	◎ ◎ ◎ ◎	紙の購入量を抑えることができた。 無駄遣いを減らし、購入量を減らしていく。 今後も継続して推進する 現状を維持して取り組んでいく
産業廃棄物のリサイクル	・マニュフェストに基づき処理する。	◎	産業廃棄物の処理・リサイクル率　100% マニフェストの返却に気をつけよう 今の活動を継続して、全員で取り組み結果を出そう。
一般廃棄物のリサイクル	・分別をきちんと行い、適正に処理する。 ・分別したものは、回収業者へ出す	◎ ◎	分別はきちんとできている 今の活動を継続して、個人での取り組みにも意識していく
水	・節水を心がける。 ・意識向上のために、　節水の貼紙をする。 ・現場に雨水のタンク設置 ・蛇口がきちんと閉まっているか確認する	△ ◎ ○ ○	車両は洗浄前に泥をよく落とすようにする タンクが足りないので、事務所で雨水ためておく ホースが破れていたら、即修理をするようにしよう。 蛇口の閉め忘れを防止 今後も取り組みを持続しつつ、全員で取り組み結果を出そう。
グリーン購入	・事務用品のグリーン購入への移行 ・資材購入の際、再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝを利用する。	◎ ◎	エコマークのついた商品を優先的に購入している 砕石は再生クラッシャランを優先して購入している
地域貢献活動	・年に2回　ボランティア活動として　国道沿いの清掃	◎	清掃作業に参加、今後も継続して行っていく
工事における環境配慮	・工事現場近隣への連絡 ・生物多様性への配慮(河川工事等の汚染防止) ・低騒音・低振動型機械、排気ガス対応型重機の ・重機等へ給油時の飛散防止	◎	出来ている 今後も継続して維持する
その他	・ペットボトルのキャップを集めて回収BOXへ ・インクカートリッジはリサイクルBOXへ ・雨の日に倉庫の片付けを行い、整理整頓を行う	◎ ◎ ◎	できている。 今後も継続して推進する

◎　よくできた　　○　できた　　△　もう少し

ボランティア活動様子

環境関連法規の遵守状況と訴訟等の有無

チェック:　令和5年3月24日

チェック:　向山　勝徳

＊環境関連法規等の遵守状況

法令等の名称	該当事項	チェック結果
廃棄物処理法	産廃処理業者との委託契約、マニュフェストの報告、管理、運搬時の携帯	○
	産廃収集運搬車両への表示、管理票交付状況年間報告	○
	処理・運搬委託業者の許可確認、処分状況の確認	○
騒音規制法	夜間、早朝の機械の使用を控える	○
	特定建設作業の届け出	○
振動規制法	低振動機械の使用	○
	特定建設作業の届け出	○
オフロード法	基準適合機械の使用	○
	点検整備の実施により適正な排出ガス性能の維持	○
	適正燃料の使用	○
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化、リサイクル品使用	○
大気汚染防止法	解体工事での特定粉じんの適正処理	○
パソコンリサイクル法	パソコンのリサイクル化	該当なし
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い、廃棄時の適正処理	該当なし
容器包装リサイクル法	一般廃棄物中の容器包装廃棄物を市町村が定めた分別の基準に従い適正に分別排出する	○
熊本県生活環境の保全等に関する条例	事業に伴う公害の防止その他の生活環境の保全等のために必要な措置を講じ、県が実施する生活環境保全等の施策に協力する	○
美里町ふるさと環境美化条例	事業用排水等の適正な処理に努めるとともに、町の実施する施策に協力する	○
浄化槽法	法定点検・日常点検の実施	○

代表者による評価と見直し

作成日:　令和5年3月30日

作成者:　向山　勝徳

ガソリン、軽油、混合油の使用量が増加したが、工事における施工箇所の増加によるもので今後もエコ運転等を継続して実施する、また社員への節減意識を徹底する。

来季、目標を達成できるように社員全員で取り組んでいく。環境目標及び環境活動計画について見直しを行ったが、特に問題なく従来どおり実施して行く。